



2025 年6月5日

各 位

会 社 名 ソースネクスト株式会社
代 表 者 代表取締役社長 兼 COO 小嶋 智彰
(コード番号 4344 東証プライム)
問 合 せ 先 取締役兼 CFO 青山 文彦
電 話 番 号 0 3 - 5 7 9 7 - 7 1 6 5

AI 通訳機「ポケットーク®S2」における、 ハイチ・クレオール語の初の独自開発のお知らせ

当社の連結子会社であるポケットーク株式会社(本社:東京都港区、取締役 代表執行役社長 兼 COO: 松田 憲幸。以下、ポケットーク社)が開発するAI通訳機「ポケットーク S2」向けに、ハイチ・クレオール語に対応する翻訳システムを同社が独自に開発いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

ポケットーク社として初めて、AI通訳機「ポケットーク S2」向けの翻訳システムを独自に開発いたしました。今回、新たに対応したのは、日常的に使用され、地域や状況によって表現が変化するという特性を持つハイチ・クレオール語です。このたび、正式にリリースいたしました。

これにより、91 言語を音声・テキストに翻訳し、1 言語をテキストのみに翻訳できるようになりました。

米国では、フロリダ州、マサチューセッツ州、ニューヨーク州を中心に、約 100 万人のハイチ系移民が暮らしています。その多くは英語をはじめとする米国の公用語を母語とせず、公共サービスや地域社会とのコミュニケーションにおける「言葉の壁」が大きな課題となっています。

同社は、こうした方々が必要な情報に迅速かつ安全に、かつ確実にアクセスできるよう、高精度な翻訳と音声読み上げ機能を備えたハイチ・クレオール語対応の翻訳システムを独自に開発いたしました。

これまで、ハイチ・クレオール語に対応した翻訳技術の中で、高精度な翻訳と音声読み上げ機能の両方を備えたサービスはごく限られておりました。同社は、米国で広がるニーズに応えるべく、言語・文化の専門家である Kerby Magophy 氏(InCreole Translation シニア翻訳者)との連携により、独自開発を実現しました。

本取り組みに関して、海外孫会社である PockeTalk Inc.、及びカービー・マゴフィー氏より、コメントが寄せられました。

・Joe Miller(ジョー・ミラー) PockeTalk Inc. 社 取締役兼ゼネラルマネージャー

「米国における政府機関や大手企業からの要望が急増する中、ハイチ・クレオール語に対応することは私たちにとって自然な選択でした。正確で文化的背景にも配慮した翻訳を提供することは、すべての人が会話に参加できる社会をつくるために欠かせません。このプロジェクトに真摯に取り組めたことを誇りに思います。」

・Kerby Magophy 氏(カービー・マゴフィー) InCreole Translation シニア翻訳者

「本開発に携われたことを、大変光栄に思います。ハイチ・クレオール語は文脈や使われる場面によって意味が大きく変わる、非常に繊細な言語です。そのため、これまで正確に翻訳されることが少なく、誤解されることも多くありました。今回の取り組みは、単なる技術革新ではなく、私たちのコミュニティが社会の中でより深く関わっていくための大きな一歩だと感じています。」

「ポケットーク」は今後も、世界中の多様な言語に対応し、言葉の壁を越えて、すべての人がつながる社会の実現を目指してまいります。

以上